

海老名市立大谷小学校 学校運営協議会 議事録
(令和8年度 第1回)

- 1 日時 令和8年5月12日(火) 9:00~10:30
- 2 場所 海老名市立大谷小学校 校長室
- 3 出席委員 石井 正雄委員長、藤澤 ゆかり委員、今別府 淳子委員、桐生 行雄委員、吹越 真佐美委員、鈴木 竜也委員、ホーランド 佳奈委員、古畑 恒校長、岩上 克成教頭、山田 直子総括教諭

4 会議の内容

(1) 委嘱状交付及び自己紹介

今年度新規委員の委嘱状交付
自己紹介

(2) 学校長挨拶・教育目標について

古畑校長：中学校区の共通の学校目標は、今年度10年間時限付の10年目。したがって「自立・夢を拓く人」、めざす子ども像「追究する子」、「創造する子」、「協働する子」に変更はなく、前校長が推進してきたことを継承しスタートをする。その中で、自分自身の目で、子どもの様子、職員の様子、地域の様子を実際に関わり合いながらとらえ、それらをもとに、自分なりに色を加えていく。

具体的な取り組みの視点一つ目は、授業力の向上。授業力の向上は、私たちへの一番の命題。校内研究では、国語科の研究3年目となり、外部講師を活用しながらさらに研究を積み重ねていく。また、総合的な学習の時間では、地域の材を活用しながら、深く探究する機会としていく。

二つ目は、インクルーシブ教育の推進。市全体として推進している中で、教員の意識改革を進めていく。また、実務としてはコーディネーターが中心となり推進していく。今年度、支援級担当に総括教諭を配置した。コーディネーターとの連携を強化し推進していく。

三つ目は、社会に開かれた教育課程。この地域の皆様は本当に温かい。朝の立哨をしても、様々な方から声を掛けられる。そんな地域の方々を、学習にも関わっていただきながら、深い学びとなるような教育課程を模索し続けていく。

今後ともご協力をお願いしたい。

(3) 校内授業参観

全校の各教室の様子について参観した。また、児童の作品等も鑑賞した。

(4) 委員との意見交流

桐生委員：子どもたちの発達段階がわかりとても参考になった。気づいたことを一つ。子どもたちの教育環境について。学校は、やはりものが多い。工夫をされているが、廊下の両側にもものがあったところもあり、緊急時にスムーズに通れなさそうなどころがあった。少し改善が必要。少子化で子どもが減り、空き教室の活用も併せて考えていくとよい。

古畑校長：ご指摘ありがとうございます。子どもたちの安全のために、改善していきます。

ホーランド委員：6年生の学習でミシンを扱っていた。是非、お手伝いを保護者に声をかけて欲しい。昨年度も1年生の朝顔の種を蒔くときに人がいたらいいなという話を聞いた。学校全体で、この学習の時には、このような人が欲しいということ整理して、早めに教えていただけたらよい。是非お手伝いしたいという方がいると思う。

古畑校長：ありがとうございます。学校でも依頼の流れを整えて、甘えられるところは、どんどん甘えていきたい。

吹越委員：民生委員の方が、地域の方に言われたということが一つ。それは、横浜銀行前の横断歩道がない部分を、登下校中ではなく普段の生活の中で、児童が横断していることがあり心配とのこと。

大人もついしてしまうことがある。子どもはそれを見て、してしまうこともあるかもしれない。

石井委員長：高学年では、教科ごと担当が違うことなどはありますか。

古畑校長：4年生から6年生で、交換授業を行っている。

桐生委員：「社会に開かれた教育課程」と記されているが、社会は概念的に広く感じられるので、お知らせをする対象によっては、「地域に開かれた」と言った方がよい。

(5) 年間行事予定について

山田委員：R8年度の主要な行事について紹介をした。

(6) その他

次回の学校運営協議会は、令和8年11月30日（月）9:00から開催予定。